

【創世記第18章】

「主に不可能なことがあるか。」 (創世記18:14)

アブラハムのところに3人の旅人が現われました。アブラハムは最高のもてなしをしたのです。その内の一人は“主”太文字であらわされた神（御使い）でした。（文語訳ではエホバと訳され、学者の間ではヤハウェとされている主の御名を、主と太字で記されています。）主はアブラハムに現われたと同様、私たちにも直接主が現われてくださったらその信仰がもっと成長するでしょう。あなたにも主はどんな時に現われてくださいましたか？ 聖霊を更に求め、聞き従いによる満たしの中で主とお会いしましょう。

主は二つのことを告げました。その一つは「来年の今ごろ～あなたの妻サラには男の子が来ています。」それを聞いていたサラは生理的にも子を産めない体になっていましたので心の中で笑いました。主は見逃していません。神の全能を信じないサラの不信を戒めています。そこで主はアブラハムに言われるのです。「主に不可能な事があるか。」神様はわざわざ人間の力では不可能な状況の中で、神のことばを実現されます。それは人間の力ではなく、ただただ神が臨み、神の力で成されたら、すべて神に栄光が帰されるからです。「主」という名で現れてハッキリとご自身を表わして全能の神（エルシャダイ）に出来ない事はないと言っています。不可能を可能にして下さるお方を信じましょう。

もう一つは、ソドムとゴモラを滅ぼすにあたり、ロトの家族を救出するためです。「アブラハムは必ず大いなる強い国民となり、地のすべての国々は、彼によって祝福される。わたしが彼を選び出したのは、彼がその子らと、彼の後の家族とに命じて主の道を守らせ、正義と公正とを行わせるため、主が、アブラハムについて約束したことを、彼の上に成就するためである。」それに反して、ソドムとゴモラの叫びは非常に大きく、彼らの罪が極めて重いことから、滅ぼすことを告げられたら、アブラハムは必死に執り成しをしています。この様に私達もまた、友の為に必死に執り成すものとなりましょう！

50人義人がいたら→45人は？→40人→30人→20人→10人と迫っています。しかし結局10人の義人がいなかったのでしょうか。滅ぼされてしまうことになります。そうです。この世に義人はイエス・キリストお一人です。（ローマ3:10。「義人はいない。ひとりもない。」）その為にこの世は滅びます。その中で、永遠のいのちを与えて下さる救い主イエス・キリストを伝えましょう。今回、台湾宣教に加わられたことは、FRH教会の宣教の大きな前進の一步です。更に身近な所から海を越えて迄、救いを求める人たちの所にみ言葉を携えて出てゆきましょう！！

「この天地は滅び去ります。しかし、わたしのことばは決して滅びることはありません。」マタイ24:35



TLCCC FRH

天に登録されている長子たちの教会

Church of the **F**irstborn who are **R**egistered in **H**eaven

主任牧師：イエス・キリスト

牧師：ダニエル大重

SHILOAM

【シロアム：遣わされた者】

2014.9.28 No.808

新年のみ言葉

いつも主にあって喜びに満たされなさい。

もう一度言います。喜びなさい。

ピリピ書4章4節

神は、実に、そのひとり子をお与えになったほどに、世を愛された。それは御子を信じる者が、ひとりとして滅びることなく、永遠のいのちを持つためである。

ヨハネ3:16



101タワー エデン教会 鳳山村教会

主の十字架クリスチャンセンター(TLCCC)

The Lord's Cross Christian Center

<http://astone-blog.jp/tlcccfhr/>

